

2年間の臨床研修を終えて 長崎舜平

2018年4月に大学を卒業後直ぐに始まった初期臨床研修もいつの間にか終わりの時期を迎えてしまいました。よくわからないことだらけで始まり、漠然とした不安を抱きながら進んでいた2年間でしたが、最終的にはある程度の目的意識と今後への展望を得ることができるようになり、苦しんだ時期も有りましたが、とても実りのある2年間であったと感じています。

研修開始当初は何もできなかった自分が、上級医や看護師、技師、療法士、栄養士、薬剤師等数多くのスタッフの皆さんに支えられてではありますが、当直などを多少なりとも行うことができるようになり、少しは成長できたのではないかと思えるようになりました。

黒石病院での研修は中規模病院ならではの特色が多くあり、特定科の先生が常勤ではない点、一人当直という近隣病院では唯一のシステム等々、当院でなければ得られないような経験を行うことができます。もちろんすべてがメリットというわけではなく、他科へのコンサルトに苦慮したり、当直時に黒石病院では対応に難渋する事態になったりと、様々なデメリットも起きえます。しかし、それに対応する方法などについても上級医の方々はじめスタッフの皆様から学ぶことができ、単純に医学的な知識のみならず、地域連携・医療といった面の経験値も積むことができます。

私は今後精神科の専攻医となり、地域医療の発展に寄与していけるように努力することとなりますが、大学病院はじめとした大規模病院では得られないような諸経験は、これからの日々の業務においても十二分に有用であると確信しています。

最後になりますが、何かの機会にまた黒石病院で仕事をさせて頂く機会があれば、少しなりとも成長した姿をお見せすることができれば何よりです。

2年間本当にありがとうございました。皆様がこれからも変わらずご活躍されていくことをお祈りしています。